

# 「美しい森林づくり」に向けて

- 平成19年度国有林野事業主要取組事項 -



知床世界自然遺産の写真（上）  
豊かな水をたたえる知床五湖の様子。  
手入れの行き届いた複層林の写真（左）  
下層木の成長に必要な光が林床に入っている。

## < 基本的な考え方 >

### 新たな森林・林業基本計画の策定

昨年9月、政府は新たな森林・林業基本計画を策定しました。この基本計画では、多面的な機能を発揮する森林を緑の社会資本と位置づけ、長期的視点に立った多様な森林づくりや、国産材の利用拡大を軸とした林業・木材産業の再生を進めることとしています。

### 「美しい森林づくり」の推進

幅広い国民の皆様にご理解とご協力をいただき、「美しい森林づくり」に取り組んで行くこととしています。「美しい森林づくり」は、基本計画を具現化する取組として、間伐の推進や多様で美しい森林づくりを目指した活動を政府一体となって行っていくこととしています。

### これからの国有林

国土の2割、森林の3割を占める国有林は、奥地脊<sup>せきりょう</sup> 梁山地や水源地域に広く分布し、地域特有の景観や豊かな生態系を有する森林も多く、多面的機能を発揮する上で重要な位置を占めています。

このため、国が管理経営する森林として、基本計画や「美しい森林づくり」の実現に向けた様々な取組を率先して推進することにより、国民の皆様の安全で豊かな生活に貢献していきます。

## 1 100年先を見通した森林づくり

森林の多面的機能を将来にわたって発揮させるため、立地条件や地域のニーズに応じて、様々な姿の森林へと誘導し、豊かな水を蓄える森林、美しい景観を形づくる森林を次世代に引き継いでいきます。また、間伐等の適切な森林整備を通じて地球温暖化防止へも貢献します。

広葉樹林化や針広混交林化、長伐期化を進めます。また、間伐等の森林整備を積極的に実施します。

民有林と国有林が連携し、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムの開発・普及を推進します。

世界遺産などに代表される優れた自然環境を有する森林を適切に管理・保全することとし、今年度からは全国的な保護林のモニタリング調査を開始します。

注) 針広混交林とは、針葉樹と広葉樹が混じりあった森林のことです。

## 2 流域の保全と災害による被害の防止・軽減

国民の皆様の安全と安心を確保するため、上流から下流まで、流域を一体的にとらえて、山崩れや土石流などの山地災害による被害の防止・軽減に努めます。

重要な水源地域等において、民有林と国有林が連携して計画をつくる「特定流域総合治山事業」の実施により、効果的な治山対策を一層推進します。

山地災害の危険が高い地区を適切に把握し、民有林と連携を図りながら情報提供を行うなど必要な対策を実施します。

## 3 様々なニーズに応えた森林の利用

国有林のフィールドを活用していただくことにより、森林づくりに参加したいという市民や企業の皆様のお手伝いをします。また、子どもたちをはじめ広く市民の皆様に森林環境教育の機会を提供します。こうした取組を通じて、森林を社会全体で支えるという意識が広まっていくことを期待しています。

企業が分収林制度を活用して森林づくりを行う「法人の森林」について、新規参加の拡大に向けた取組を強化します。知床の森林を豊かにする「知床自然の森林づくり」に多くの市民や企業の皆様の参加を得て取り組みます。

「レクリエーションの森」で森林利用施設の整備や美化活動と一緒に取り組んでもらえる企業などの募集や、子どもたちの森林環境教育の輪を広げるため、「学校林・遊々の森」全国こどもサミットを開催します。

地域と国有林が協働・連携して森林づくり活動等に取り組む、モデルプロジェクトを推進します。今年度は赤谷プロジェクト、綾の照葉樹林プロジェクトなどに加え、古都京都らしい松のシルエットがある森林への復元などの取組を京都東山国有林において強力に推進します。

#### 4 木材の安定供給体制の整備の推進

木材の需要構造の変化と新たな動きに対応して、国有林材を安定的に供給します。また、木材利用の推進にも努めます。

合板・集成材工場等の大規模需要者に対し、システム販売を通じて間伐材等の原材料を大量かつ安定的に供給するなど、民有林と国有林が連携して木材の安定供給体制の整備を推進します。

持続可能な経営から生産された合法材の利用を推進するとともに、森林土木工事における木材利用を促進します。

#### 5 国有林と民有林の連携の強化

国有林と民有林の連携をより強化し、国全体として「美しい森林づくり」を推進していきます。

治山事業による流域保全や木材の安定供給、森林環境教育など様々な分野で国有林と民有林の連携を強化します。

国有林での森林施業のモデル的な取組を民有林関係者にも情報発信し、多様な森林整備の普及に取り組めます。

## 低コスト・高効率な作業システムへの取組

民有林と国有林が連携して路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムの開発や普及を推進するため、国有林及び民有林関係者が参加する低コスト作業システムに係る現地検討会等を開催するとともに、国有林においては事業規模での検証や民有林が行うモデル林設定のためのフィールドの提供等を行います。

### 技術研修会等の実施

森林技術総合研修所（機械化センター）で民有林・国有林における指導者の養成研修を統一的に実施するとともに、これを受けて都道府県等でも研修会等が開催されます。こうした動きを踏まえつつ、森林管理局においても現地検討会を開催するなど民・国が連携しながら技術者の養成に取り組みます。

### モデル林のためのフィールドの提供等民有林との連携

民有林部局が実施する低コスト作業システムへの構築に向けた取組として、民間団体が全国に10箇所程度のモデル林を国有林内に設定し、開発されたシステムモデルの実証や現地検討会の開催、技術者の養成等に取り組むこととしており、国有林としてもこれに協力するほか、要請に応じて技術者派遣など連携を図ります。



- 問い合わせ先 -

林野庁国有林野部業務課

担当：木村

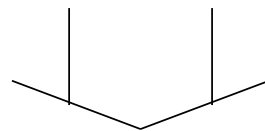
:03-3502-8111(代表)内線6531

03-3502-8349(直通)

# 低コスト・高効率な作業システムへの 取組によるトータルコストの縮減

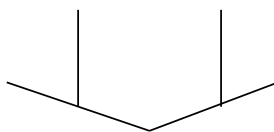
## 現 状 と 課 題

収穫量は人工林資源の充実に伴い漸増、主伐から間伐にシフト  
この中で、森林整備を推進するため間伐を積極的に実施  
並材、低質材が主であり、これらの需要拡大が必要  
加えて、路網整備を含め、森林整備に係るトータルコストの削減  
が不可欠  
新たな森林・林業基本計画に即して、低コスト作業路の取組を民  
・国が連携して推進



## 具 体 的 な 取 組

路網と高性能林業機械を組み合わせた、低コスト・高効率作業シ  
ステムの開発・普及を民・国が連携して推進  
特に低コスト作業路の普及・定着に向けて、研修や現地検討会等を  
実施  
機械化センターにおける技術者の養成（企画者、オペレータ）  
各局における現地検討会の開催  
事業における具体的な実践（試行や検証）  
民間団体が行う現地検討会への国有林のフィールド提供や都  
道府県等との連携を推進



トータルコストの縮減による森林整備の推進



# 風景林を地域協力で未来へ再チャレンジ計画

～ 京都東山国有林を舞台として ～

京都市内の東山風景林（レクリエーションの森）は、多くの社寺仏閣を懐に抱える国有林であり、世界文化遺産の背景林として、また、日本庭園の借景として、日本人はもとより海外からの観光客からも愛される森林となっています。

しかしながら、昭和50年代に猛威をふるった松枯れと、景観保全のための禁伐により、東山は、アカマツとコナラを主体とした明るい森林から、常緑樹であるコジイが上層を占める暗い森林へと変化してきています。

近畿中国森林管理局では、有識者の意見を踏まえ、コジイの抜き伐りや落葉広葉樹・アカマツの植栽により、京都の東山国有林を舞台に、四季折々の彩りがある森林や、古都京都らしい松のシルエットがある森林に復元するなど世界文化遺産に貢献する森林づくりを進めています。

このたび、京都市やNPO、学識経験者の参加による東山森林管理協議会を立ち上げることとし、森林づくりに係る地域の合意形成とモニタリングの体制を整備し、一般市民や民間企業等の参画を得ながら東山国有林での古都京都を彩る森林づくりを一層強力に推進していきたいと考えています。

知恩院の前から望む東山国有林



1932年4月撮影

アカマツや落葉広葉樹を主体とする森林



2006年12月撮影

コジイなど常緑広葉樹を主体とする森林

## 東山森林管理協議会（仮称）について

京都市、NPO 法人、学識経験者などが構成員となり7月に設立予定。 文化的価値の高い東山をどのような姿にしていくのか、そのコンセンサス形成、森林づくり、文化的価値発信を行う予定。協議会では、民間企業の参画を幅広く求めていく考えである。

## 連絡先

林野庁国有林野部経営企画課

担当 中村

Tel:03-3502-8111（代表）内線 6485

03-3502-1027（直通）